

これまで、会派の同僚議員とともに、市民の声を聞き、福岡市医師会や国会議員との意見交換を行いながら、高島市長や行政に対し、意見、要望を続けてきました。行政も、ワクチン接種の体制整備や飲食店の家賃補助等、福岡市独自の対策を

なつて いる 地域活動等を、
いかに 再開して いくか な
ど、多くの 課題に、引き 続き
市民の 皆さん の 声を 聞き、
関係者と 連携しながら 取り
組んで 参ります。 結びに、1
日も早く コロナ が 落ち着
き、コロナ 前の 市民生活を
取り戻すことと 併せて、皆
さまの 御健勝、御多幸を 祈
念いたします。

A 事業者に対し、発掘調査の実施その他の必要な事項を指示することができる（文化財保護法第93条第2項）経費の負担を求めるところとする。埋蔵文化財は貴重な国民共有の財産であり、可能な限り現状で保存する。支援策として、特に貴重と評価され、史跡に指定された場合において指定地を買い取る措置が講じられ、地方自治体への国庫補助制度がある。

A 3つのビジョンを踏まえ、自動車交通の円滑化、歩行者や自転車の安全性の向上や災害時の輸送ルートの確保、総合的に勘案し選定している。海の中道海浜公

A イエローボーンについて、急傾斜地の崩壊等が発生した場合、住民等の生命または身体に危険が生じるおそれがあると認められる土地の区域、警戒避難体制を特に整備すべき土地の区域レッドゾーンについて、イエローボーンのうち、急傾斜地の崩壊等が発生した場合は、建築物に損壊が生じ、住民の生命または身体に著しい危害が生じるおそれがあると認められる土地の区域で、一定の開発行為の制限及び居室を有する建築物の構造を規制すべき土地の区域避難指示は60分間積算雨量

A medium shot of a man from the waist up. He has dark hair and is wearing a white face mask over his mouth and nose. He is dressed in a dark blue or black suit jacket over a light-colored button-down shirt. He is holding a white, folded piece of paper or a folder in his hands. The background consists of vertical wooden panels, suggesting an indoor setting like a courtroom or a formal hearing room.

ご挨拶



決算特別 委員会総会

(令和3年9月24日)

埋蔵文化財の 発掘調査に



福岡市で最初に新型コロナウイルスの陽性者が確認された一昨年の2月から、2年が過ぎました。この間、4度に渡る緊急事態宣言や蔓延防止等重点措置が発出され、市民生活や社会経済活動は大きな影響を受け続けてきました。私の50年の人生の中でも、経験したことのない、想像もしなかつた大変な事態ですが、そんな時こそ市民の声を聞き、

行うなど、しっかりと対応して頂いたことに、心より感謝いたします。しかし、コロナウイルスは未だに収束していません。今後も、現在進んでいる3回目のワクチン接種を、希望する全ての人にいかに早く行き渡らせるか、コロナ過で出来なくなっている地域活動等を、

Q 公共や民間の事業で遺
埋蔵文化財発掘調査の費用
負担について、また事業者負
担が困難な場合の対応処置
(支援策など) 発掘調査負担
に苦労している事業者の悲
痛な声や制度が抱える問題
点をしつかり文化庁に伝え
て制度見直しを求める。

Q 本市東部地域において、まちづくりの進展と現
都市計画道路海の中道海浜公園線の整備について





住宅
への対応に
土砂災害等



個人の住宅建設では全額補助、個人事業者の開発事業では発掘調査の50%、上限80万円の補助を行つてゐる。福岡市長会などを通じて国に対して引き続き要望を行う。(経済観光文化局長)

園線の塩浜地区から雁ノ巣まで全区間の一体的な整備を行うことが望ましいが事業費が多くなることが大きな問題。段階的に整備することとした。※鉄道高架化道路高架及び平面交差など(道路下水道局長)

Q 市民の安全、安心確保のため、土砂災害への対応について、今後どのように取り組んでいくのか、市長の考え方を尋ねる。

A 曰頃からハード、ソフト両面にわたる十分な対策が重要であると認識している。ハード面については県と連携しながら、急傾斜地対策などに取り組んいく。ソフト面については、避難指南などの情報を定期接なターンシングで発令するとともに市民が災害に備え、常日頃から必要な準備を行つて、適切な避難行動を取れるように、引き続き市政だよりや市ホームページ、出前講座などによって防災知識の普及啓發に取り組んでいく。防災先導都市福岡を目指して、しっかりと取り組んでいく。(市長)





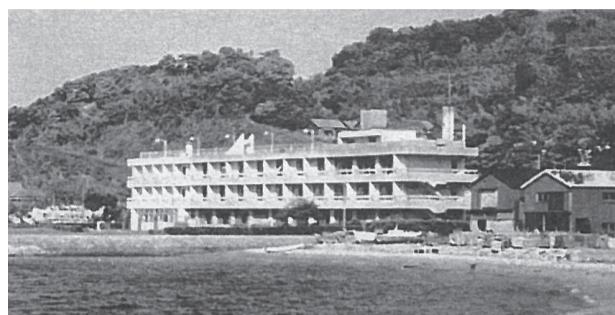
志賀島水族館

志賀島水族館は昭和26年開館以来十数年間町営事業として実績をあげてきたが、都合により昭和44年度から民間に経営を委託し、その後閉館。



写真撮影:福岡市 撮影者:Fumio Hashimoto

志賀町の福岡市への合併
編入に際して、市町間で19項目の合併協定が交わされ、編入される志賀町から39項目の要望事項が提出され、さらに市町合併に伴う建設計画



国民宿舎しかのしま苑

福岡市の施設として設置。昭和38年に開業、平成3年に増改築。施設の老朽化と事業の見直しにより平成13年9月に閉業。

[地域別人口] (福岡市統計より)

	勝馬	志賀島(弘を含む)	西戸崎(大岳を含む)
昭和46年	400人	3121人	5124人
令和3年	207人	1258人	6167人

[学校の生徒、児童数] (教育統計年報より)

	勝馬(小学校)	志賀島(小学校)	西戸崎(小学校)	志賀(中学校)
昭和46年	35人	245人	415人	455人
令和3年	40人(10)	14人(32)	402人(403)	231人(229)

*調査基準日は、各年5月1日。ただし、()内は、住民基本台帳(日本人)男女別・年齢別人口及び世帯数【登録人口(校区別)令和3年6月末現在《校区・年齢別》】より集計。

元気な都市と言われる福岡市ですが、西区の北崎地区や早良区南部の地区など、志賀島地区と同様に、過疎化、高齢化が進んでいる地域があります。都心部でも、まちが成熟し、高齢化が進み、高台にある地域では、高齢者が病院や買い物に行くのに支障をきたしていると聞いています。

一方で旧志賀町の地域、西戸崎地区は1,000人ほど人口が増えていますが、志賀島では合併当時約3,500人だった人口が1,500人を割り高齢化率が50%に迫っています。

一方で、金印公園リニューアルオープン式典が行われました。50年前の先人たちのまちを思う気持ちを引き継いで、現住民の想いが詰まっています。志賀島地域の景観や歴史を活かしたまちづくり、地元の住民はもちろん福岡市民にも、憩いの場所として喜んでもらえるまちづくりを、地元地域と行政と一緒に作り上げていきたいと思います。



金印公園 平成30年3月18日にリニューアルされました。

美しい自然景観と、国宝金印が発掘された金印公園や志賀海神社など多くの歴史資源を有する志賀島地区、海の中道海浜公園やマリンワールドがある西戸崎地区からなる旧志賀町(志賀、弘、勝馬、西戸崎、大岳)が昭和46年4月5日に福岡市に合併編入して、令和3年4月5日で50年を迎えました。

人口流出が相次ぎ町勢の下降現象がみられ、地域振興と生活環境の整備が急務であった志賀町と、都市の発展に伴い、自然と歴史の豊かな地である志賀島を市民レクリエーション観光地域として、また、港湾行政の一元化を図ることによって、港湾機能の整備を促進したい福岡市とで、それぞれ十分な調査検討を行つてきました結果、合併について合意に達したものです。

そして合併編入から50年。福岡市は合併当時90万人弱だった人口が160万人を超えて、日本で一番元気な都市と言われるよう成長を続けてきました。すばらしいことです。

一方で、旧志賀町の地域、西戸崎地区は1,000人ほど人口が増えていますが、志賀島では合併当時約3,500人だった人口が1,500人を割り高齢化率が50%に迫っています。

一方で、金印公園リニューアルオープン式典が行われました。50年前の先人たちのまちを思う気持ちを引き継いで、現住民の想いが詰まっています。志賀島地域の景観や歴史を活かしたまちづくり、地元の住民はもちろん福岡市民にも、憩いの場所として喜んでもらえるまちづくりを、地元地域と行政と一緒に作り上げていきたいと思います。

市民の代表で、一番身近である市議会議員として、地域の声に耳を傾け、地域にあつたまちづくりを考えていきたいと思います。

これまでの主な役職

- 福岡市議会 議長(第72代)(平成29年6月～令和元年5月)
- 議会改革調査特別委員会 委員長(平成27年9月～平成29年5月)
- 監査委員(平成27年5月～平成28年5月)
- 自由民主党福岡市議団 副会長(平成27年5月～平成29年6月)
- 議会運営委員会 委員長(平成25年5月～平成27年5月)
- 自由民主党福岡市議団 政務調査会長(平成23年5月～平成25年6月)
- 経済振興委員会 委員長(平成23年5月～平成24年5月)
- 自由民主党福岡市議団 総務会長(平成19年4月～平成21年6月)
- 生活環境委員会 委員長(平成18年5月～平成19年5月)



川上しんぺいプロフィール

昭和46年 福岡市に生まれる
福岡県立筑紫丘高校卒業
福岡大学中退
中村調理師専門学校卒業
平成9年 株式会社正興電機製作所入社
平成11年 福岡市議会議員初当選
平成29年 第72代福岡市議会議長就任
平成31年 福岡市議会議員6期目当選

現在の主な役職・活動

- 総務財政委員会 委員
- 交通対策特別委員会 委員
- 文化・スポーツ振興推進協議会 委員
- 福岡市沿岸漁業振興議員連盟 議員
- アビスパ福岡支援議員連盟 委員
- 福岡私立幼稚園連盟 振興議員
- 福岡市保育推進議員連盟 議員
- 福岡都市圏研究会 会員
- 福岡那の津ライオンズクラブ 会員
- 福岡青年会議所シニアクラブ 会員
- 福岡市東消防団西戸崎分団 部長
- 若宮商店会 相談役
- 福岡市鍼灸師会 顧問
- アジア太平洋こども会議・イン福岡支援議員連盟 会長

